

## FD 関連研修会 参加報告書

主 催	法政大学 教育開発支援機構 FD 推進センター
企画名称・テーマ	第9回 FD シンポジウム 「本当に必要な FD 活動とは —実質化のための支援・教育評価—」
開催日時<会場>	2011年10月8日(土) <法政大学 市ヶ谷キャンパス>
参加者所属	教育学部 教育開発課

### 参加報告

#### 1. 研修会の目的

近年、多くの高等教育機関が FD 活動に積極的に取り組んでいる。FD 活動のあり方が多様化していくなかで、より実質的で効果的な FD とは何なのか。事例報告を通して、本当に必要な FD とは、どのような方向性で、どのような課題や問題点を解決していくべきなのか、検証をしていく。

#### 2. 研修の概要

基調講演として、東北大学の羽田貴史氏より「大学教員の能力形成プロセスとFDの課題」をテーマ講演された。東北大学では大学教員の能力形成を目的として PDP(Professional Development Program)等様々なプログラムが実施されているが、本当に現状の取り組み方法で教員の力はつくのか、と投げかける。以下、「本当に必要な FD 活動とは」という本研修会の問いかけに対して、各講演者が検討していく。

愛媛大学山田剛史氏より、「誰のための、何のための FD か」をテーマに FD の多様性と標準性、同僚性と専門性の相克を超えて、FD の実質化をどうおこなっていくかについて話題提供がなされた。

次に、鳥居朋子氏より、立命館大学での実践事例を紹介しつつ、FD と IR (Institutional Research) との関係性を検討し、学生の成長や実態についてより詳細に調査すること、可視化することの重要性を話された。

山田礼子氏より、「エビデンスベースから FD を推進する」をテーマに、教育の質保証のために何をすべきかを問いながら、同志社大学を含む連携4大学の取り組みによる IR ネットワークシステムの構築について紹介がなされた。

最後に川上忠重氏より、法政大学における FD の取り組みについて紹介がなされた。「FD 学生の声コンクール あなたの声を授業の改善に」という学生の FD の意識向上の取り組みが行なわれていた点が大変印象的であった。

### 3. 本学のFD活動における検討課題

様々な観点から、「本当に必要なFDとは何か」を考えるための有益な研修会であった。とくにIRは学生の実態をより詳細に知れるツールであるし、取り入れることができればFD活動の幅が広がるのではないかと思われる。しかしながら、IRシステムは大変な労力や機関づくりを要することから、本学での実現はなかなか難しいものがある。各大学でFD活動がより活発に行なわれるようになり多様化されている今日においては、まずは本学の特色を十分分析・理解したうえで、どのようなFDが学生の学びに有益に作用し、より効果を発揮することができるかということを検討していくことが第一に必要なではないかと考える。